

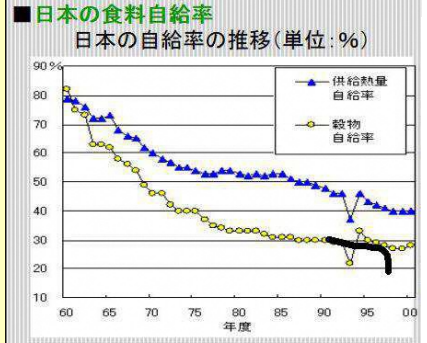
日本食料新聞

平成29年10月6日

作者 本口 璃名

輸入が増えたえいきょうで

輸入が増えた事により、日本は米、田がへり肉が増えました。これは、たたみの部屋が減ったように食生活も洋風化したのです。それに輸入が増えれば増えるほど、国産の米も土地も減るので、いざ輸入が止まると食料がなくなってしまうので



安定して食料を確保するために

この写真を見ると日本の食料自給率は、減っています。しかし、日本はこれからも食料を確保していかなければなりません。そのためにどのような事が必要でしょうか。

それは地産地消の取り組みです。他にも外国への輸出を増やす取り組みです。このようなことをすれば安定して食料を確保できます。

す。日本は、どうすればよいでしょうか。

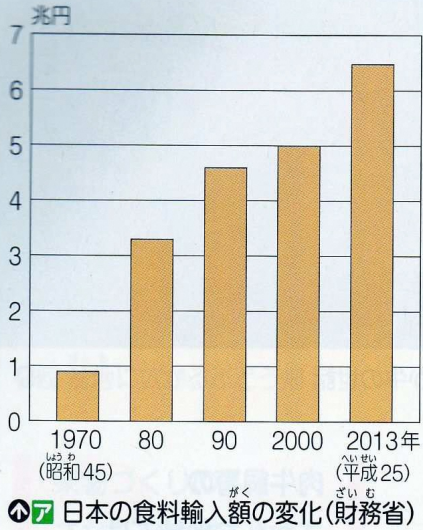
輸入にたよりすぎると、、、

1970年から2013年にかけて食料輸入額が増え続けています。輸入が増えたと人は、輸入にたよってしまいます。そのため、輸入が増えた日本は食料

この写真をみると日本は、ほかの国に比べ自給率がひどいです。これもまた輸入が増えたためだと考えられます。日本は食料自給率を上げるためにどのようなことをすればよいでしょうか。例えば昔ながらの食生活を見直すというのもいいでしょうね。

感想

最初は、輸入をすれば得をしようと思っていました。しかし、いいことばかりではありませんでした。例えば輸入が増えると国の食料自給率が下がってしまうということです。もし、輸入が止まったとしても安定して食料を確保できるような社会を作りたいです。



オーストラリア	279%
フランス	191%
アメリカ	133%
ドイツ	126%
イギリス	112%
インド	107%
中国	94%
北朝鮮	53%
日本	27%

国連FAO「食糧需給表」